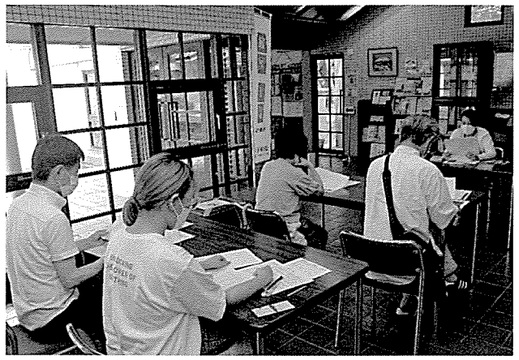
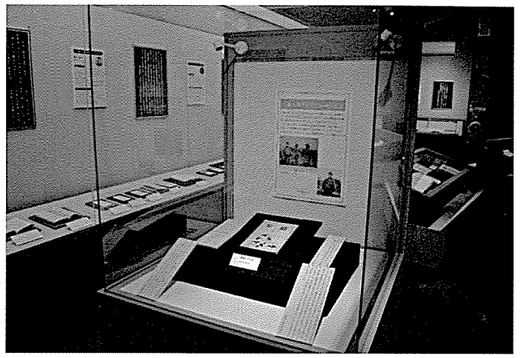


令和４年度 「書簡解読ワークショップ」



令和４年度　収蔵資料展「文士たちが見た花袋」

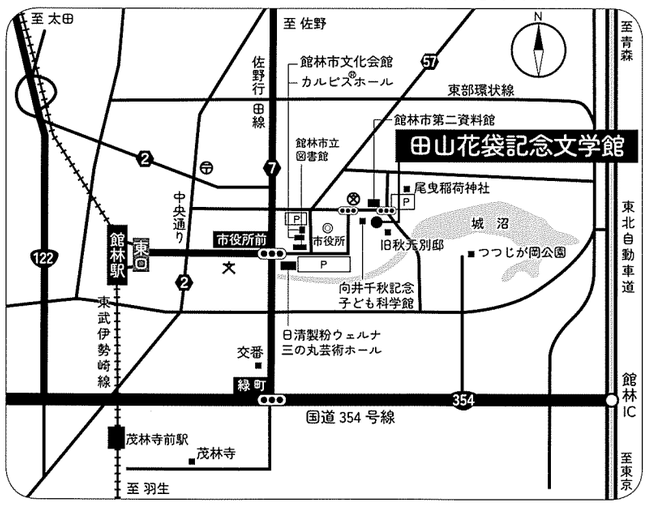
施　設　概　要

位　　置	館林市城町１番３号
構　　造	鉄筋コンクリート平屋建
規　　模	敷地面積　1,335m² 建築面積　553m² 延床面積　488m²
総事業費	約 230,000千円
開　　館	昭和62年４月18日

施設内容	常設展示室	144m²
	企画展示室	108m²
	収蔵庫	30m²
	特別収蔵庫	48m²
	研究閲覧室	22.88m²
	事務室	18.72m²
	ホール・トイレ他	116.4m²

案　内　図

東武伊勢崎線「館林駅」下車徒歩20分



お　問　合　せ

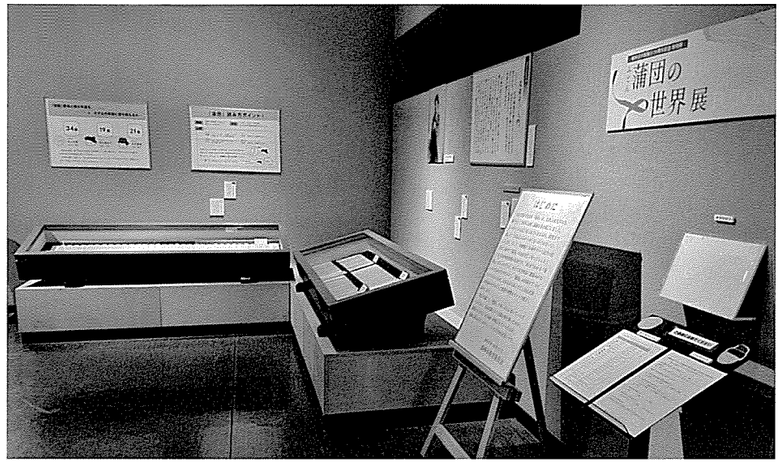
<館林市教育委員会文化振興課>
〒374－0018
群馬県館林市城町３－１
TEL：0276－74－4111

<田山花袋記念文学館>
〒374－0018
群馬県館林市城町１－３
TEL：0276－74－5100

発行　令和８年３月

田山花袋記念文学館　年報 12

令和４年度（2022年）～令和６年度（2024年）



令和６年度　特別展「蒲団の世界」展

年度別入館者数

年度	開館日数	入館者数（小中学生）	団体				
			施設見学	学　校	文学散歩	その他	合　計
4	295 日	2,918名（496名）	0　名	280　名	128　名	43　名	451　名
5	306 日	3,021名（409名）	0　名	142　名	29　名	130　名	301　名
6	299 日	3,677名（690名）	15　名	273　名	20　名	37　名	345　名

企画展・特別展入館者数

※（）内は内数で小中学生の数

年度	展　示　名	期　間	日数	入　館　者　数
4	島崎藤村生誕 150 年記念企画展「藤村からの手紙」第１部	R4.3.26～4.6.5	57 日	687 名（66 名）※集計期間 4.1～6.5
	島崎藤村生誕 150 年記念企画展「藤村からの手紙」第２部	R4.6.8～4.8.14	58 日	578 名（122 名）
	島崎藤村生誕 150 年記念企画展「藤村からの手紙」第３部	R4.8.17～4.10.16	47 日	385 名（49 名）
	特別展「花袋大解剖－みんなが気になる花袋のアレコレ－」	R4.10.21～4.12.11	43 日	709 名（208 名）
	収蔵資料展「花袋先生の冬じたく」	R4.12.16～5.2.26	45 日	306 名（26 名）
	収蔵資料展「文士たちが見た花袋」	R5.3.3～5.6.4	24 日	225 名（22 名）※集計期間 3.3～3.31
5	収蔵資料展「文士たちが見た花袋」	R5.3.3～5.6.18	69 日	1,068名（100名）※集計期間 4.1～6.18
	収蔵資料展「花袋先生の愛用品」展	R6.3.2～6.5.26	26 日	254 名（29 名）※集計期間 3.2～3.31
6	収蔵資料展「花袋先生の愛用品」展	R6.3.2～6.5.26	49 日	1,164 名（232 名）※集計期間 4.1～5.26
	市制施行 70 周年記念「第８回新収蔵資料」展	R6.6.8～6.9.1	74 日	664 名（139 名）
	市制施行 70 周年記念特別展「蒲団の世界」展	R6.10.15～6.12.1	42 日	568 名（74 名）
	市制施行 70 周年記念「第９回新収蔵資料展 大正五年ふたつの旅～信州高遠・奥州棚倉～」	R6.12.21～7.2.24	49 日	431 名（117 名）
	市制施行 70 周年記念企画展 「追補蒲団の世界展 －若き恋人たち－」	R7.3.1～7.5.18	25 日	362 名（34 名）※集計期間 3.1～3.31

館林市教育委員会

企画展・特別展

＜令和４年度（2022年）＞

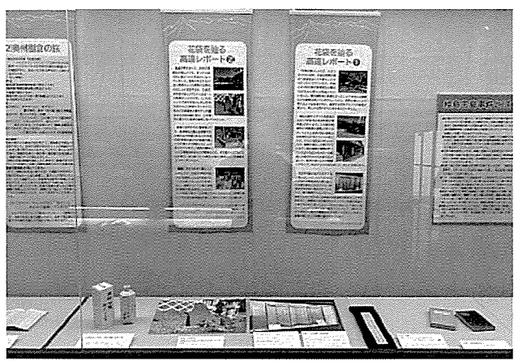
展示名・展示期間	内　　容
島崎藤村生誕150年記念企画展 **「藤村からの手紙」（第１部～第３部）** 第１部： 令和４年３月26日（土）～６月５日（日） 第２部： 令和４年６月８日（水）～８月14日（日） 第３部： 令和４年８月17日（水）～10月16日（日）	【展示の目的】 当館では、島崎藤村が田山花袋へ宛てた書簡95通のうち93通を収蔵している。島崎藤村が生誕してから150年の節目に、３期に分けて藤村書簡をすべて公開、展示し、両者の交友や文壇の足跡について紹介する。 【主な展示資料】 島崎藤村書簡（花袋宛）・紅葉会和歌集「五番歌結」・島崎藤村『破戒』（復刻版）・Charles Darwin『The Expression of the Emotions in Man and Animals』・田山花袋『野の花』など
特別展 **「花袋大解剖－みんなが気になる花袋のアレコレ－」** 令和４年10月22日（土）～12月11日（日）	【展示の目的】 今までのアンケートから花袋について疑問を寄せられたものを取り上げ、これまで広く知られていなかった部分に焦点を当てて紹介する。 《１館林での少年時代の暮らし》《２博文館での仕事》《３「蒲団」再考》《４夫・父として》《５花袋を取り巻く女性たち》《６親友・柳田国男との交友》 【主な展示資料】 進藤長作原稿「田山花袋ノ少年時代」・博文館関係者寄書扁額・田山花袋『緑』・花袋／先蔵／瑞穂絵ハガキ（里さ宛）・田山花袋『恋の殿堂』・柳田国男「花袋君の作と生き方」など
収蔵資料展 **「花袋先生の冬じたく」** 令和４年12月17日（土）～ 令和５年２月26日（日）	【展示の目的】 花袋の冬の愛用品などを展示し、明治・大正時代の暮らしについて紹介する。 【主な展示資料】 国木田独歩年賀状・与謝野鉄幹年賀状・尾崎紅葉年賀状・田山花袋漢詩書幅「繖松下眺大天橋…」・島崎藤村書簡（花袋宛）など
収蔵資料展 **「文士たちが見た花袋」** 令和５年３月３日（金）～６月18日（日）	【展示の目的】 花袋と同時代に活躍した文士たちの花袋評を紹介し、花袋の仕事や人となりがどのように受け止められていたかを把握、紹介するもの。 【主な展示資料】 江見水蔭『自己中心明治文壇史』・森鴎外書簡（花袋宛）・国木田独歩書簡（花袋宛）・正宗白鳥『文壇人物評論』・宇野浩二『文学の三十年』など

＜令和５年度（2023年）＞

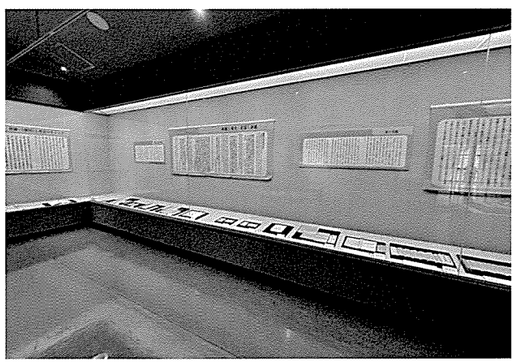
展示名・展示期間	内　　容
収蔵資料展 **「花袋先生の愛用品」展** 令和６年３月２日（土）～５月26日（日）	【展示の目的】 花袋が実際に使用していた道具などの「モノ」を通して、文豪花袋が生きた時代を身近に感じていただく。 【主な展示資料】 穎才新誌第670号・城沼四時雑詠・円形硯・蓋付き茶碗・トランク・田山瑞穂原稿「父母のこと」など

＜令和６年度（2024年）＞

展示名・展示期間	内　　容
市制施行70周年記念 **「第８回新収蔵資料」展** 令和６年６月８日（土）～９月１日（日）	【展示の目的】 平成29年から令和５年までに新たに収蔵した資料を中心に展示、紹介する。 【主な展示資料】 国木田独歩書簡（花袋宛）・西園寺公望書掛軸（朱文公の漢詩）「我来万里～」・田山花袋自筆和歌掛軸「すみた川～」・末広一対平福百穂画（目録付）など
市制施行70周年記念特別展 **「蒲団の世界」展** 令和６年10月15日（火）～12月１日（日）	【展示の目的】 市制施行70周年という節目の年に、本市出身の文豪田山花袋の代表作「蒲団」の内容を広く知っていただく。“30分でわかる「蒲団」”をコンセプトに、今まで文学作品に馴染みがない人でもわかりやすいようおおまかなあらすじと、花袋が作品のモデルにしたハガキや書簡を、花袋と女弟子岡田美知代を中心に展示し紹介する。 【主な展示資料】 田山花袋書簡（岡田美知代宛）・岡田美知代書簡（花袋宛）・『大日本地誌 巻一（関東）』・『新聲第二十一巻』（合本復刻版）など
市制施行70周年記念 **「第９回新収蔵資料展 大正五年ふたつの旅 ～信州高遠・奥州棚倉～」** 令和６年12月21日（土） ～令和７年２月24日（日）	【展示の目的】 未公開・新収蔵の資料を紹介するとともに、「中年の危機」に直面し人生を振り返った花袋の大正五年高遠・棚倉へのふたつの旅に焦点をあて、現地に赴いた学芸員のレポートとともにその旅路を紹介する。 【主な展示資料】 田山花袋「山荘にひとりゐて」（「中央公論」31巻10号）・田山花袋和歌短冊「ゑにしなれやもゝ年の後のふる寺の～」・田山花袋「ある訪問」・古沢友雄／田山録弥「両詞伯棚倉百勝詠歌」
市制施行70周年記念企画展 **「追補 蒲団の世界展 －若き恋人たち－」** 令和７年３月１日（土）～５月18日（日）	【展示の目的】 花袋の代表作「蒲団」は、作中の出来事が現実と酷似していること、主人公の内面が赤裸々に描かれていることから、一躍話題となった。特別展「蒲団の世界」展に関連して、岡田美知代と永代静雄、若き恋人たちに焦点をあて紹介する。 【主な展示資料】 田山花袋書簡（岡田美知代宛）・岡田美知代書簡（花袋宛）・蘇渓（静雄）書簡（岡田美知代宛）・「サンデー毎日」三巻十六号など



令和６年度　「第９回新収蔵資料展
大正五年ふたつの旅～信州高遠・奥州棚倉～」



令和６年度　企画展
「追補 蒲団の世界展－若き恋人たち－」

普　及　事　業

＜令和４年度（2022年）＞

事　業　名	内　　容
「書簡解読ワークショップ」 開 催 日： 令和４年５月14日（土）、29日（日）、 ６月25日（土）、７月24日（日）、８月20日（土）、 ９月25日（日） 参加人数：43人 場　　所：田山花袋記念文学館	【内容】 開催中の企画展「藤村からの手紙」に展示中の書簡を読み解く講座。講座を通して、藤村と花袋の交友についてより深く知ってもらうことを目的とする。 【解読資料】 花袋宛島崎藤村書簡（大正３年８月12日付）・（明治35年11月９日付）・（明治37年７月30日付）・（明治36年４月25日付）・（（推定）明治39年）３月19日付）・（明治37年１月23日付）
「恋愛学から読みとく田山花袋「蒲団」」 開 催 日：令和４年12月３日（土） 参加人数：200人 場　　所：三の丸芸術ホール	【内容】 「蒲団」の新たな魅力について、『恋愛学で読みとく文豪の恋』（2020、光文社新書）の著者・森川教授が「恋愛学」の観点から紐解く。 【講師】森川友義氏（早稲田大学国際教養学部教授）

＜令和５年度（2023年）＞

事　業　名	内　　容
全４回 「田山花袋朗読プロジェクト」 開 催 日： 令和５年11月19日（日）、12月17日（日）、 令和６年１月21日（日）、２月25日（日） 参加人数：のべ15人 場　　所：田山花袋記念文学館	【内　容】 全４回の講座を通して、田山花袋の小作品を朗読し、花袋作品の魅力を知っていただく。また、小説の朗読の方法について、作品の理解と共に、聞き手の心に届く朗読を学び、朗読発表会を実施する。 【講　師】 針谷範子氏（（公財）文字・活字文化推進機構認定朗読指導者）、阿部弥生氏 【参加者】館林女子高放送部２人、関東学園大学附属高校演劇部２人
田山花袋朗読プロジェクト 「朗読発表会」 開 催 日：令和６年３月10日（日） 参加人数：50人 場　　所：館林市立図書館	【内　容】 田山花袋の小作品を朗読し、花袋作品の魅力を知っていただく。 ＜作品＞ 『幼き頃のスケッチ』より「私の大きくなった町」「城址」「朝霜」、『梅雨の頃』より「金魚」 【講　師】 針谷範子氏（（公財）文字・活字文化推進機構認定朗読指導者）、阿部弥生氏

＜令和６年度（2024年）＞

事　業　名	内　　容
全６回 「田山花袋朗読プロジェクト」 開 催 日： 令和６年９月29日（日）、11月10日（日）、 12月８日（日）、12月15日、 令和７年１月12日（日）、２月16日（日） 参加人数：のべ34人 場　　所：田山花袋記念文学館	【内　容】 全６回の講座を通して、田山花袋の小作品を朗読し、花袋作品の魅力を知っていただく。また、小説の朗読の方法について、作品の理解と共に、聞き手の心に届く朗読を学び、朗読発表会を実施する。 【講　師】 針谷範子氏（（公財）文字・活字文化推進機構認定朗読指導者）、阿部弥生氏 【参加者】 館林女子高放送部３人、関東学園大学附属高校演劇部２人、太田高校文芸部３人

＜令和６年度（2024年）＞

事　業　名	内　　容
田山花袋朗読プロジェクト 「朗読発表会」 開 催 日：令和７年３月16日（日） 参加人数：156人 場　　所：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール	【内容】 田山花袋の小作品を朗読し、花袋作品の魅力を知っていただく。 ＜作品＞ 『幼き頃のスケッチ』より「私の大きくなった町」「凧」「沼」「沼の主」「城址」「朝霜」、『一日の行楽』より「館林の躑躅」、『東京の三十年』より「丘の上の家」「机」 【講師】 山根基世氏（元NHKアナウンス室長）、 針谷範子氏（（公財）文字・活字文化推進機構認定朗読指導者）、阿部弥生氏
「ゆるっと展示コーナー」 開催日：令和７年３月15日（土）～ （以降、毎月末を目安に不定期更新） 場　所：田山花袋記念文学館　常設展示室	【内容】 常設展示室の立方ケースを使用し、毎月更新を目安としたミニ展示コーナーを設置した。手軽に展示替え可能であり、未公開資料の公開機会を作るほか、更なるリピーター獲得へ繋がるよう働きかける。 【展示品】 ①「国木田独歩書簡（花袋宛）」（（推定）明治30年）１月31日

特　別　利　用

＜館内特別利用＞

年度	月	件数	資　料　名
4	4	2	写真「『叙情詩』出版記念」、手帳、写真「金山山頂新田神社」、写真「城見館」、写真「実弥登・かつよ」、写真「田山花袋肖像」（生誕50年祝賀会）ほか
	5	2	写真「花袋・藤村」、写真「兄実弥登」ほか
	6	1	常設展示室展示風景
	7	5	雑誌「趣味２巻11号」（花袋「田舎ゆき」）、写真「田山花袋肖像」、常設展示室展示風景、書簡類ほか
	8	2	常設展示室展示風景
	9	4	写真「田山花袋肖像」、柳田国男絵ハガキ（花袋宛）、手帳ほか
	10	2	常設展示室展示風景
	11	2	花袋原稿「短編 故家井」、花袋『新婚』ほか
	12	5	常設展示室展示風景、田山花袋書簡（岡田美知代宛）、新聞「文藝時報」、手帳ほか
	1	1	洋書 J-K Huysmans『The Cathedral』ほか
	2	3	花袋原稿４編「吾妻川」「若菜摘」「林中」「小桃源」、写真「田山花袋肖像」、写真「岡田美知代」
	3	1	企画展示室展示風景ほか
5	5	1	写真「国木田独歩を囲む文士たちの肖像（南湖院）」、徳田秋声・近松秋江筆絵ハガキ（花袋宛）ほか
	6	2	花袋「日本一周中編」、雑誌「趣味」ほか
	7	1	「卑言」、「古文書（卑言下書き）」
	8	3	「東京市復興地図」、花袋『東京震災記』（初版）、地図「伊良湖岬」、雑誌「新潮23巻２号」、森鴎外書簡（花袋宛）、第二軍記念会寄書
	9	2	戦功賜与状、扶助料願書分与表、花袋『東京震災記』（初版）
	11	2	洋書 Charles Darwin『The Expression of the Emotions in Man and Animals』、石井家記録
	12	2	洋書 Charles Darwin『The Expression of the Emotions in Man and Animals』、洋書 Honore De Balzac『The Peasantry』、古文書綴「虎烈刺博深豫防法」ほか
	1	4	『埋れ木』、花袋絵ハガキ（田山先蔵宛）ほか
	2	4	森鴎外ハガキ（花袋宛）、写真「静雄・美知代夫婦と長女千鶴子」ほか
	3	2	雑誌「東京２巻２号」（花袋「停車場の時計」）、写真「田山花袋肖像」

＜館内特別利用＞

年度	月	件数	資　料　名
6	4	1	写真「硯友社同人」
	5	1	写真「明治 40 年頃の田山花袋」
	6	2	遺品「煙草入れ」、花袋絵ハガキ（田山里さ宛）ほか
	7	2	口絵原画≪田舎教師≫（油彩）、漢詩色紙「弥勒頂高濃霧封～」、広開土王碑拓本ほか
	8	5	洋書 Paul Bourget『Cosmopolis』、洋書 Paul Bourget『The Blue Duchess』ほか
	9	1	懐中日記、手帳ほか
	11	1	写真「静雄・美知代夫婦と長女千鶴子」、永代静雄絵ハガキ（岡田美知代宛）
	12	2	洋書 Gerorge Brandes『Anatole France』、洋書 Honore de Balzac『PERE GORIOT』、原稿「ふる郷」ほか
	1	1	写真「神戸港にて」、遺品「トランク」・「机」
	2	4	洋書 Bertha M. Clay『A Heart's bitterness』、洋書 Bjornstjerne Bjornson『Synnove Solbakken』、常設展示室内花袋書簡（飯田代子宛）・（岡田美知代宛）・龍土会パネルほか
	3	2	洋書 Count Lyof Tolstoi『Two Generations』、写真「紅葉会員」ほか

＜館外特別利用＞

年度	資　料　名	点数	貸出先
4	花袋原稿「吾妻川」ほか	6	群馬県中之条町
	田山花袋タペストリー一式	5	群馬県太田市
	花袋自筆漢詩原稿ほか	14	大分県中津市
	田山花袋タペストリー一式ほか	9	群馬県太田市

年度	資　料　名	点数	貸出先
5	森鴎外ハガキ（花袋宛）ほか	6	群馬県前橋市
6	広開土王碑拓本（第２面のみ）、拓本送付用木箱、拓本付着石灰粒一括ほか	3	群馬県高崎市

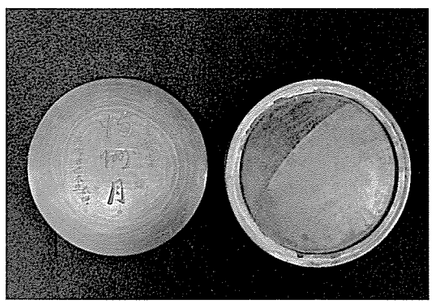
資　料　収　集

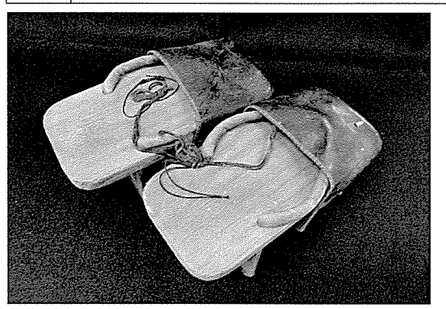
＜資料寄贈点数＞

年度	資　料　名	点数
4	新撰名著復刻全集近代文学館　田山花袋『田舎教師』	2

＜資料購入点数＞

年度	資　料　名	点数
4	田山花袋自筆和歌色紙（額入）「夜はこゝ見る人なくて山そひの～」	1
	江見水蔭案・武内桂舟画「新案角力双六」	1
	田山花袋自筆和歌短冊「かきこしにみゆるとなりの～」	1
5	田山花袋和歌短冊「ゑにしなれやもゝ年の後のふる寺の～」、国木田独歩全集（前編）・（後編）ほか	12
6	田山花袋著単行本『生』（初版）	1





令和５年度　収蔵資料展「花袋先生の愛用品」展　展示品　＜円形硯＞＜下駄＞

事　業　費

＜歳入概要＞

（単位：円）

	４　年　度	５　年　度	６　年　度
入　館　料	287,650	267,080	280,170
	（内訳） ・個人　275,660 ・団体　11,990	（内訳） ・個人　257,840 ・団体　9,240	（内訳） ・個人　275,220 ・団体　4,950

＜歳出概要＞

（単位：円）

事　業　名	４　年　度	５　年　度	６　年　度
館運営事業費	6,723,819	9,764,703	6,856,165
	（内訳） ・管理委託金　2,554,235 ・光熱水費　1,106,738 ・その他　3,062,846	（内訳） ・管理委託金　2,713,987 ・光熱水費　944,457 ・その他　6,106,259	（内訳） ・管理委託金　2,893,006 ・光熱水費　1,147,725 ・その他　2,815,434
調査研究事業費	203,280	207,900	295,900
	（内訳） ・研究紀要作成　203,280	（内訳） ・研究紀要作成　207,900	（内訳） ・研究紀要作成　295,900
資料購入事業費	93,320	99,600	89,800
資料保存管理事業費	1,118,700	877	1,650,000
	（内訳） ・修繕・保存費（燻蒸など）　1,118,700	（内訳） ・修繕・保存費（燻蒸委託費なし）　877	（内訳） ・修繕・保存費（燻蒸など）　1,650,000
展示普及事業費	672,671	830,959	1,047,260
	（内訳） ・島崎藤村生誕 150 年記念企画展「藤村からの手紙」 ・特別展「花袋大解剖－みんなが気になる花袋のアレコレ－」 ・収蔵資料展「花袋先生の冬じたく」 ・収蔵資料展「文士たちが見た花袋」	（内訳） ・収蔵資料展「花袋先生の愛用品」展	（内訳） ・市制施行 70 周年記念「第 8 回新収蔵資料」展 ・市制施行 70 周年記念特別展「蒲団の世界」展 ・市制施行 70 周年記念「第 9 回新収蔵資料展　大正五年ふたつの旅～信州高遠・奥州棚倉～」 ・市制施行 70 周年記念企画展「追補　蒲団の世界－若き恋人たち－」
実施した主な事業	・文学館年報 11　印刷製本 ・不陸等改修工事	・文学館ハロン消火設備改修工事 ・花袋カード印刷	・文学館パンフレット増刷 ・H29 図録「K と T」増刷
	年度合計　8,811,790	10,904,039	9,939,125